

## IOTN scale (Index of Orthodontic Treatment Need : 歯科矯正必要度インデックス)

### グレード1 問題なし

- ◆極めて小さな不正咬合が認められる、コンタクトポイントのズレは1mm以下

### グレード2 軽度

- ◆オーバージェット 3.5mm< かつ  $\leq 6$  mm ただし口唇を閉じられる
- ◆反対咬合 0mm< かつ  $\leq 1$  mm
- ◆コンタクトポイントのズレ 1mm< かつ  $\leq 2$  mm
- ◆歯肉接触を伴わないディープバイト  $\leq 3.5$ mm
- ◆前歯部または臼歯部の交叉咬合  $\leq 1$  mm
- ◆前歯部または臼歯部の開口 1mm< かつ  $\leq 2$  mm
- ◆通常咬合の前後において特に支障を生じない

### グレード3 ボーダーラインケース (下記の AC ポイントも加えて必要度を定める)

- ◆オーバージェット 3.5mm< かつ  $\leq 6$  mm ただし口唇を閉じられない
  - ◆反対咬合 1mm< かつ  $\leq 3.5$ mm
  - ◆コンタクトポイントのズレ 2mm< かつ  $\leq 4$  mm
  - ◆痛みを伴わない歯肉または口蓋に接するディープバイト
  - ◆前歯部または臼歯部の交叉咬合 1mm< かつ  $\leq 2$  mm
  - ◆前歯部または臼歯部の開口 2mm< かつ  $\leq 4$  mm
- 英国 65% をカバー**

### グレード4 矯正治療を必要とする

- ◆補綴前矯正または空隙閉鎖を必要とする永久歯欠損
- ◆反対咬合 3.5mm< ただし咀嚼や会話に支障がない
- ◆反対咬合 1mm< かつ  $\leq 3.5$ mm ただし咀嚼や会話に支障がある
- ◆前歯部または臼歯部の交叉咬合 2mm<
- ◆コンタクトポイントのズレ 4mm<
- ◆痛みを伴う歯肉または口蓋に接するディープバイト
- ◆オーバージェット 6mm< かつ  $\leq 9$  mm
- ◆片側または両側の咀嚼できない臼歯部交叉咬合
- ◆前歯部または臼歯部の開口 4mm<
- ◆部分萌出歯、傾斜または埋伏歯、および過剰歯

### グレード5 矯正治療が必須である

- ◆第3大臼歯以外の埋伏歯がある
  - ◆オーバージェット 9mm<
  - ◆口唇口蓋裂
  - ◆4分割歯列のなかに2本以上の欠損歯がある
  - ◆反対咬合 3.5mm<
  - ◆乳歯の埋伏歯がある
- 日本 5% のみ**

日本ではグレード5の一部のみ保険適用 (子供全体の5%以下?)、対して英国ではグレード3.6以上に保険適用 (子供全体の4割に何らかの不正咬合があるとして、その65%に保険適用されているので、子供全体では25%が保険で治療されている)。

## AC ポイント図表 (Aesthetic Component Chart)



AC ポイントは主観的なものであるが、英国では写真6以上が保険治療の対象となる。(グレード3.6<)